

落雷事故の防止について

天気予報を事前に確認しておく

- 活動場所の天気の確認をし、活動内容を検討する際の参考にして下さい。(雷注意報など) 気象庁ナウキャストをご活用ください。

雷鳴が聞こえたら活動を中止して避難する

- かすかにでも雷鳴が聞こえた場合 → すぐに活動を中止 屋内退避(丈夫な建物、バス内など)
屋内退避できない場合 → 立ち木など高い物から離れて、姿勢を低くする。
天候の急変(黒雲、突風、気温の低下、降雨など)があれば雷雲はすぐ近く!
事前に活動場所付近の避難場所を確認しておく。

活動再開は雷鳴消失後20分以上経過してから

- 頭上に雷雲がなく、雷鳴が消失していたとしても、20~30分は安全な場所で待機することが必要!
晴れた状態でも落雷事故は発生しています。新たな雷雲の接近に常に注意!

落雷事故発生時の対応

- 傷病者がいる場合 → 救急車要請
その際、落雷によるものであることを伝え、指示を仰いでください。
雷雲が上空にあることが考えられますので、二次災害に十分ご注意ください。
○心肺蘇生、AED使用の指示があった場合には、速やかに処置を開始してください。

オキシダント及びPM2.5への対応について

オキシダント注意報・警報発令時の対応

*PM2.5についても以下に準じて対応する。

- 警報(赤)、注意報(黄色)のカードを職員室後方のホワイトボードに掲示。
校内放送等で連絡する。
- オキシダント情報メール配信登録をしておく!

【注意報・警報】

- 屋外での活動は中止し、屋内退避。状況により帰宅させる。
- 屋内では、できるだけ窓を閉める。難しい場合は、カーテンを閉める。

【情報】

- 屋外での激しい活動は避ける。健康観察で不調者があれば屋内退避。
- 屋内では、できるだけ窓を閉める。難しい場合は、カーテンを閉める。

- 健康観察をこまめに行う。健康異常(目やのどの痛みなど)の発生に留意。
- 目やのどに症状が出た場合には、洗眼やうがいをさせる。
- 喘息、気管支炎、心臓疾患、アレルギー疾患のある生徒は特に留意する。